

Ⅱ 集計結果

1. 幸福感

問1-1 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を1つだけ○で囲んでください。
(○は1つだけ)

➤ 日ごろ感じている幸福感

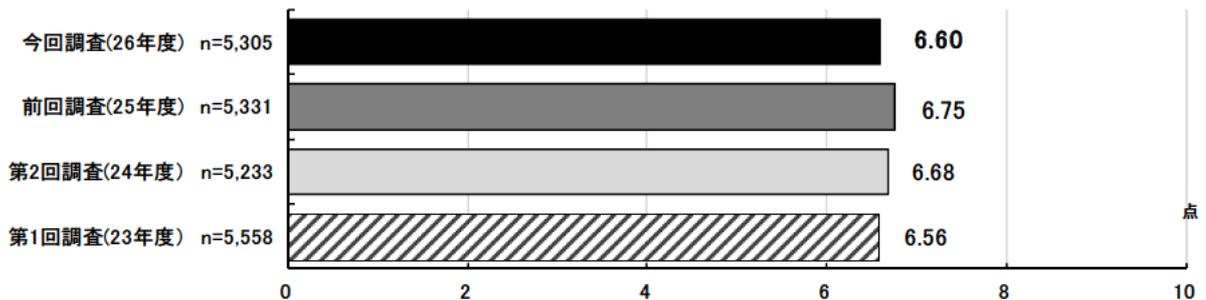
県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下、「幸福感」と記載）について10点満点で質問したところ、平均値は6.60点で、第1回調査より0.04点高くなっていますが、前回調査より0.15点、第2回調査より0.08点それぞれ低くなっています。

点数の分布をみると、「8点」の割合が22.2%と最も高く、次いで「5点」(19.4%)、「7点」(18.6%)となっており、M字型となっています。

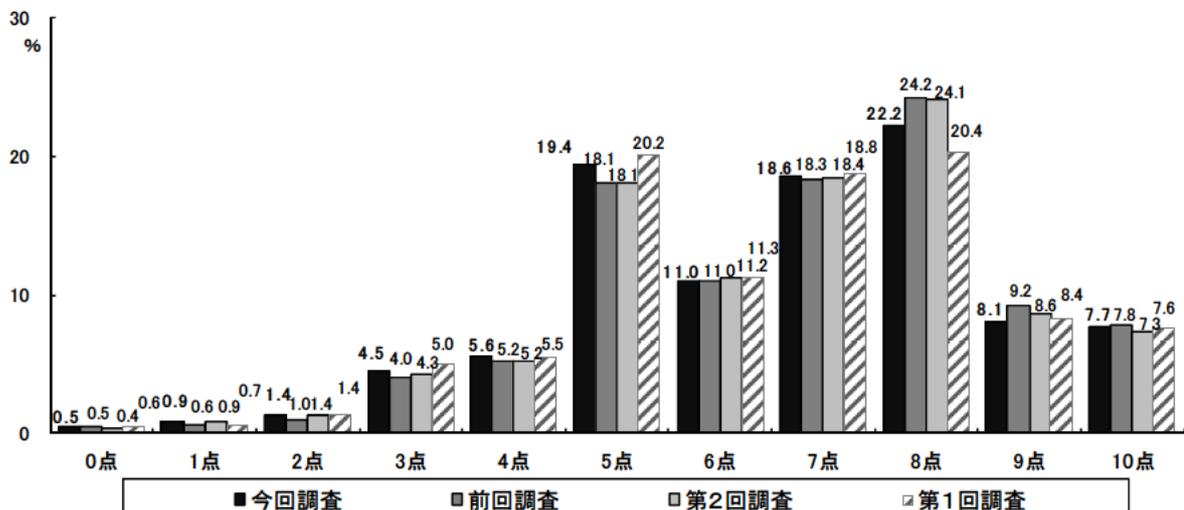
前回調査と比べると、「8点」の割合が2.0ポイント、「9点」の割合が1.1ポイントそれぞれ低く、「5点」の割合が1.3ポイント、「7点」の割合が0.3ポイントそれぞれ高くなっています。

第1回調査と比べると、「8点」の割合が1.8ポイント高く、「5点」の割合が0.8ポイント低くなっています。

図表 2-1-1 日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が6.69点で最も高く、次いで中南勢、伊勢志摩の順となっています。前回調査と比較すると、全ての地域で低くなっており、伊賀で0.23点、東紀州で0.18点、伊勢志摩で0.17点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、中南勢で0.13点、北勢で0.05点、伊勢志摩で0.02点それぞれ高く、東紀州で0.28点、伊賀で0.09点それぞれ低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が6.85点で男性の6.31点より0.54点高くなっています。前回調査と比較すると、男性で0.21点、女性で0.08点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、男性は0.01点低く、女性は0.05点高くなっています。

年齢（10歳階級）別で幸福感平均値を見ると、30歳代が6.81点で最も高く、次いで40歳代、50歳代の順となっています。前回調査と比較すると、全ての年齢階級で低くなっており、70歳以上で0.22点、20歳代で0.18点、30歳代で0.17点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、40歳代以上の年齢階級で高く、30歳代以下の年齢階級で低くなっています。

主な職業別で幸福感平均値を見ると、学生が7.04点で最も高く、次いで専業主婦・主夫、正規職員の順となっています。前回調査と比較すると、学生を除く全ての職業で低くなっており、農林水産業で0.32点、無職で0.23点、パート・バイト・派遣で0.14点、それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、農林水産業、正規職員、パート・バイト・派遣、学生、無職で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が6.83点で最も高く、次いで離別・死別が6.17点、未婚が5.87点となっています。前回調査と比較すると、未婚で0.24点、有配偶で0.11点、離別・死別で0.06点それぞれ低くなっています。第1回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、一世代世帯、二世帯世帯がともに6.71点で最も高く、次いで三世帯世帯が6.68点、単独世帯が5.85点となっています。

世帯収入別では、600万円未満の世帯収入の階層において、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100万円未満で0.53点、100万円以上～200万円未満で0.33点それぞれ低く、1000万円以上で0.29点高くなっています。

図表 2-1-3 日ごろ感じている幸福の平均値(属性項目別)

	今回 点	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
合計	6.60	(-0.15)	<0.04>
地域			
北勢	6.69	(-0.15)	<0.05>
伊賀	6.42	(-0.23)	<-0.09>
中南勢	6.67	(-0.08)	<0.13>
伊勢志摩	6.43	(-0.17)	<0.02>
東紀州	6.19	(-0.18)	<-0.28>
性別			
男性	6.31	(-0.21)	<-0.01>
女性	6.85	(-0.08)	<0.05>
年齢			
20歳代	6.51	(-0.18)	<-0.03>
30歳代	6.81	(-0.17)	<-0.04>
40歳代	6.68	(-0.11)	<0.11>
50歳代	6.60	(-0.01)	<0.10>
60歳代	6.54	(-0.15)	<0.05>
70歳以上	6.58	(-0.22)	<0.03>
主な職業			
農林水産業	6.61	(-0.32)	<0.11>
自営業・自由業	6.64	(-0.10)	<-0.01>
正規職員	6.79	(-0.01)	<0.10>
パート・バイト・派遣	6.53	(-0.14)	<0.14>
その他の職業	6.27	(-0.39)	<-0.40>
学生	7.04	(0.25)	<0.46>
専業主婦・主夫	7.03	(-0.12)	<-0.01>
無職	6.26	(-0.23)	<0.03>
配偶関係			
未婚	5.87	(-0.24)	<0.10>
有配偶	6.83	(-0.11)	<0.05>
離別・死別	6.17	(-0.06)	<0.07>
世帯類型			
単独世帯	5.85	(-)	<->
一世帯世帯	6.71	(-)	<->
二世帯世帯	6.71	(-)	<->
三世帯世帯	6.68	(-)	<->
世帯収入			
~100万円未満	5.32	(-0.53)	<->
~200万円未満	5.75	(-0.33)	<->
~300万円未満	6.27	(-0.05)	<->
~400万円未満	6.55	(-0.23)	<->
~500万円未満	6.62	(-0.29)	<->
~600万円未満	6.98	(0.06)	<->
~800万円未満	6.97	(-0.19)	<->
~1,000万円未満	7.20	(-0.21)	<->
1,000万円以上	7.70	(0.29)	<->

※世帯類型については、前回調査及び第1回調査と設問が同一でないことから、比較を行っていません。

※世帯収入については、第1回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

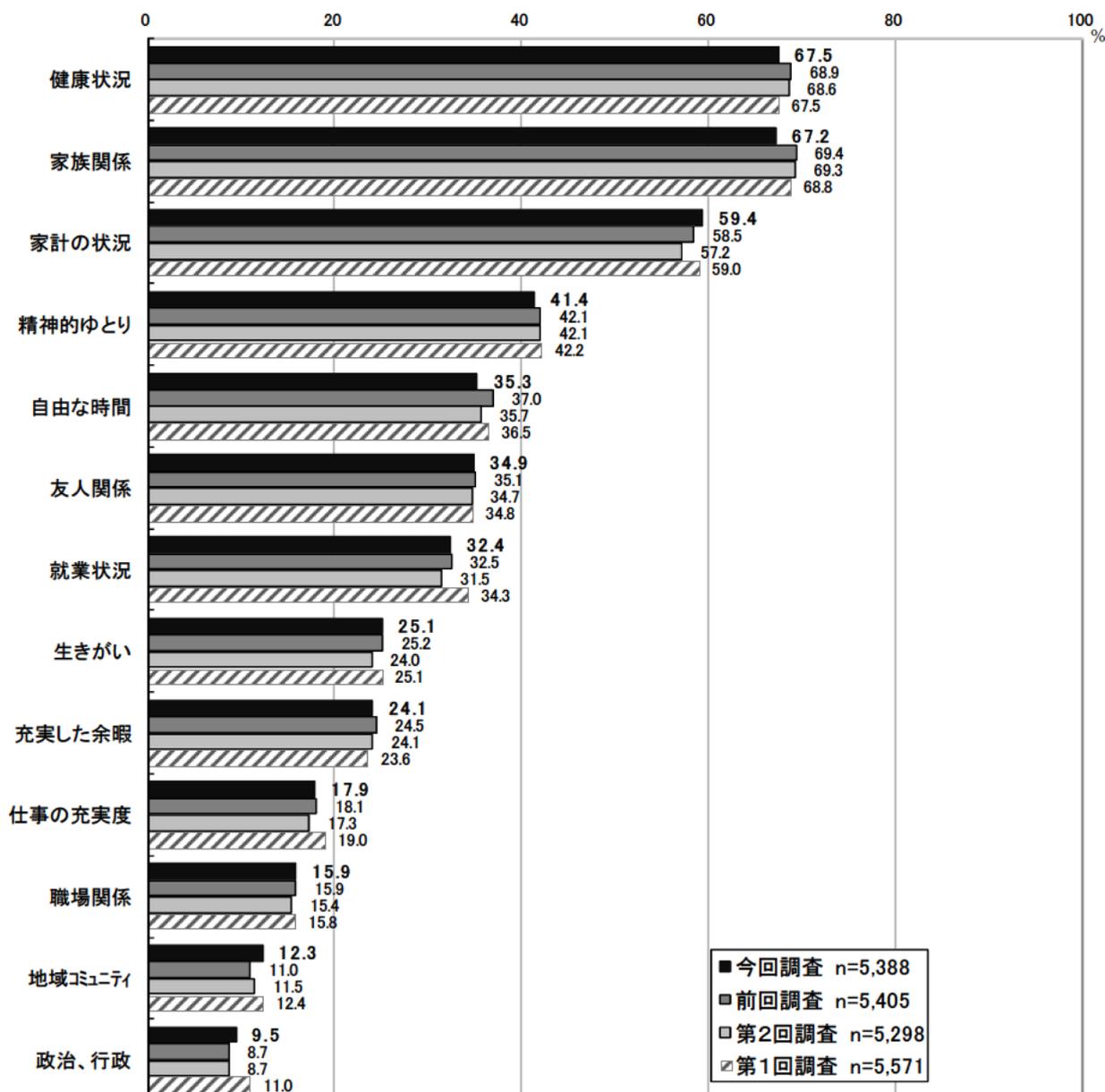
問1-2 幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中からあてはまるものすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

➤ 幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は「健康状況」の割合が67.5%で最も高く、次いで「家族関係」(67.2%)次いで、「家計の状況(所得・消費)」(59.4%)となっています。

前回調査までの3回の調査では「家族関係」が最も高くなっていましたが、今回調査では「健康状況」が最も高くなりました。「健康状況」と「家族関係」を除くと、前回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-4 幸福感を判断する際に重視した事項〔複数回答〕



➤ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項
(全体の上位 6 項目の属性別)

地域別では、伊賀、中南勢、東紀州では「健康状況」が、伊勢志摩は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。北勢は「健康状況」と「家族関係」が同率で最も高くなっています。

性別では、男性は「健康状況」が、女性は「家族関係」が最も高くなっています。

年齢(10歳階級)別では、50歳代以上は「健康状況」が、40歳代以下は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。20歳代は「友人関係」が3番目に高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、パート・バイト・派遣、無職は「健康状況」が最も高く、自営業・自由業、正規職員、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高くなっています。

学生は「家族関係」と「友人関係」が同率で最も高くなっています。

配偶関係別では、未婚と離別・死別では「健康状況」が、有配偶は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯と一世代世帯は「健康状況」が、二世代世帯と三世代世帯は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、300万円未満の層は「健康状況」が最も高く、300万円以上の層では「家族関係」が最も高くなっています。

100万円未満の層は「家計の状況」とともに「精神的ゆとり」が3番目に高くなっています。

1,000万円以上の層では「家計の状況」が2番目に高くなっています。

	健康状況	家族関係	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	友人関係	
全体	67.5	67.2	59.4	41.4	35.3	34.9	
地域	北勢	68.0	68.0	59.4	41.3	35.6	36.3
	伊賀	67.6	63.5	60.8	41.2	34.7	32.7
	中南勢	69.3	69.0	60.0	42.3	35.9	34.9
	伊勢志摩	63.1	66.0	59.0	41.7	35.6	33.4
	東紀州	64.3	59.1	53.5	37.0	28.3	29.6
性別	男性	65.7	62.9	61.0	39.7	31.7	27.2
	女性	69.1	71.0	58.7	43.1	38.0	41.0
年齢	20歳代	55.4	62.6	51.4	44.4	43.1	53.9
	30歳代	58.0	71.8	62.0	44.3	28.6	38.6
	40歳代	63.1	73.0	68.8	43.3	27.2	31.0
	50歳代	70.0	68.8	65.9	42.6	29.3	28.6
	60歳代	73.0	65.6	59.7	41.2	37.2	30.4
	70歳以上	72.0	63.9	50.2	37.6	43.9	38.5
主な職業	農林水産業	69.3	68.1	50.6	30.1	39.2	32.5
	自営業・自由業	66.7	67.1	60.2	37.7	25.5	31.9
	正規職員	62.8	70.3	65.6	41.1	28.9	31.8
	パート・バイト・派遣	68.5	67.1	62.3	42.0	32.4	36.5
	その他の職業	68.8	62.5	59.5	40.9	29.2	30.2
	学生	58.8	70.0	35.0	41.3	50.0	70.0
	専業主婦・主夫	71.0	75.5	61.6	47.8	40.8	41.1
	無職	70.5	60.9	52.7	41.5	44.6	33.1
配偶関係	未婚	58.8	53.0	53.0	45.0	40.7	44.0
	有配偶	69.5	72.0	62.9	41.2	33.2	32.4
	離別・死別	66.8	57.7	50.9	41.2	39.5	38.7
世帯類型	単独世帯	62.8	42.9	46.9	41.2	44.0	42.5
	一世代世帯	70.1	68.2	61.3	42.1	39.5	34.1
	二世代世帯	67.7	71.2	62.3	41.9	31.3	32.8
	三世代世帯	68.7	73.7	61.8	41.7	30.7	34.3
世帯収入	100万円未満	66.7	45.4	42.0	42.0	35.7	29.0
	～200万円未満	65.0	52.7	50.7	38.2	38.4	30.2
	～300万円未満	70.3	62.0	58.2	37.6	35.9	32.3
	～400万円未満	66.3	68.6	61.9	41.9	37.8	33.0
	～500万円未満	66.3	73.4	59.8	45.1	34.2	37.4
	～600万円未満	66.6	71.4	63.1	45.1	31.2	36.2
	～800万円未満	67.1	71.6	66.8	39.8	30.0	34.5
	～1,000万円未満	75.2	77.8	69.4	48.0	30.4	36.1
	1,000万円以上	68.9	76.9	72.0	40.6	34.2	35.0

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**

問1-3 あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中から、あなたのお考えにもっとも近いものに2つまで○をつけてください。(○は2つまで)

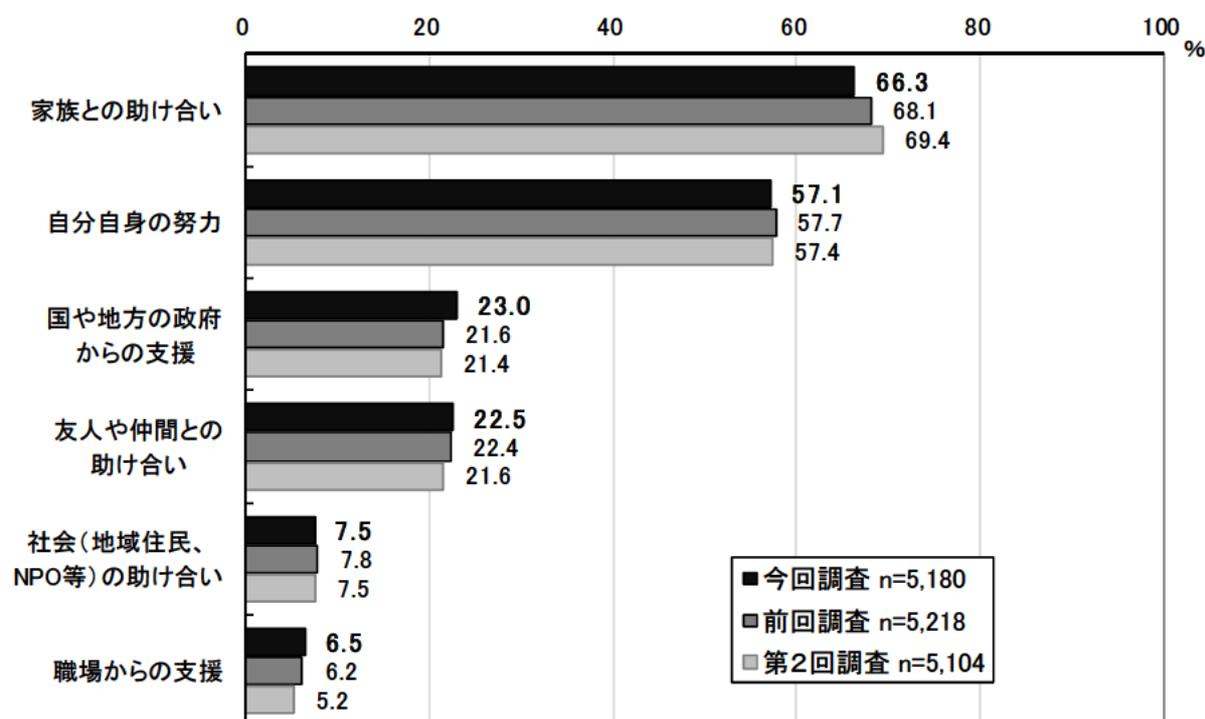
➤ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が66.3%と最も高く、次いで「自分自身の努力」(57.1%)、「国や地方の政府からの支援」(23.0%)となっています。

前回調査との比較では、「家族との助け合い」が1.8ポイント、「自分自身の努力」が0.6ポイントそれぞれ低くなった一方、「国や地方の政府からの支援」が1.4ポイント高くなり、順位も前回の4位から3位になっています。

「国や地方の政府からの支援」が「友人や仲間との助け合い」と入れ替わったことを除くと、前回調査及び第2回調査の順位から変動はありません。

図表 2-1-6 幸福感を高める手立て〔2つまでの複数回答〕



➤ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て（属性別）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」が最も高く、次いで「自分自身の努力」の順となっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高く、3位は男性が「国や地方の政府からの支援」、女性は「友人や仲間との助け合い」となっています。

年齢（10歳階級）別では、30歳代以上では「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。20歳代は「自分自身の努力」の割合が最も高くなっています。

主な職業別に見ると、学生とその他の職業を除く全ての職業で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

学生は「友人や仲間との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

配偶関係別では、有配偶と離別・死別は「家族との助け合い」が最も高く、未婚は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、100万円未満を除く全ての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。100万円未満では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

	い家族との助け合い	自分自身の努力	か国や地方の政府からの支援	助友け人けや仲間との助け合い	の民社、NPO（地域等）	職場からの支援	
全体	66.3	57.1	23.0	22.5	7.5	6.5	
地域	北勢	67.7	58.0	22.1	22.8	6.7	6.3
	伊賀	67.0	55.7	25.7	19.6	8.1	6.9
	中南勢	65.3	57.8	22.3	23.0	8.1	6.8
	伊勢志摩	64.2	56.3	24.1	22.0	8.5	6.8
	東紀州	63.4	48.7	27.2	22.8	8.0	6.3
性別	男性	62.6	60.1	23.7	18.0	9.1	7.8
	女性	69.5	54.9	22.6	25.6	6.2	5.6
年齢	20歳代	48.9	55.5	17.1	42.9	4.2	13.7
	30歳代	60.3	52.4	28.8	21.3	4.7	15.5
	40歳代	65.1	53.7	24.0	19.6	4.7	12.5
	50歳代	69.7	58.2	22.9	17.8	7.0	5.6
	60歳代	69.5	60.2	23.0	21.0	9.6	2.3
主な職業	70歳以上	70.5	58.9	21.4	22.4	9.9	0.7
	農林水産業	76.9	58.8	16.9	23.1	12.5	1.3
	自営業・自由業	67.0	62.0	21.4	20.5	6.6	3.1
	正規職員	62.8	56.3	20.8	22.5	4.7	14.7
	パート・アルバイト・派遣	68.0	56.7	24.6	20.9	6.5	7.3
	その他の職業	56.6	59.4	28.0	20.6	7.3	11.5
	学生	51.9	53.2	10.4	58.4	2.6	5.2
配偶関係	専業主婦・主夫	74.0	56.3	21.7	24.3	8.2	2.6
	無職	65.6	56.6	26.3	21.2	11.4	0.6
	未婚	36.8	62.3	22.9	34.6	6.3	14.1
世帯類型	有配偶	73.4	56.1	22.7	18.9	7.4	5.8
	離別・死別	58.3	58.1	25.4	27.5	8.9	3.4
	単独世帯	35.5	63.6	25.5	35.0	8.6	9.3
世帯収入	一世代世帯	70.8	60.0	21.5	19.4	8.8	4.0
	二世帯世帯	69.3	55.4	23.4	20.7	7.2	7.5
	三世帯世帯	71.9	52.7	22.0	23.1	6.1	7.7
	100万円未満	48.0	54.0	32.5	23.5	12.0	2.0
	～200万円未満	60.6	55.1	30.5	22.2	8.9	4.7
	～300万円未満	64.8	58.5	24.3	21.5	9.4	5.7
	～400万円未満	65.9	60.5	24.5	18.5	9.3	5.3
	～500万円未満	67.4	53.5	25.9	22.8	5.8	9.7
	～600万円未満	69.4	52.4	21.3	26.3	6.4	7.0
～800万円未満	67.4	57.6	21.8	21.8	6.2	8.8	
～1,000万円未満	76.7	58.7	17.2	18.5	5.6	8.4	
1,000万円以上	76.4	63.1	10.0	23.0	3.8	6.5	

凡例： **第1位** **第2位** **第3位**